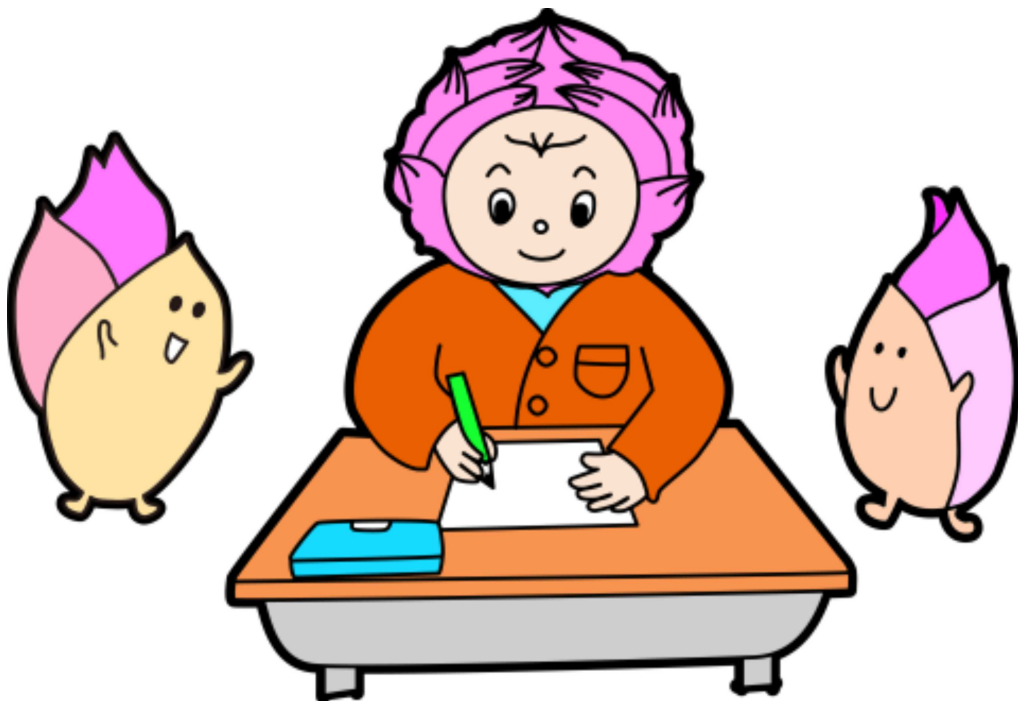


(保存版)

家庭学習の手引き

～すすんで学ぶ子どもを育てるために～



基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。また、学校と家庭が連携することで学習内容がより確かに定着し、学力が伸びていくと考えます。

この手引きは、本校の学力・学習状況調査や長浜市の学力調査の結果及び、児童の実態を踏まえて、家庭学習のすすめ方についてまとめたものです。

お子さんの家庭学習がさらに充実し、自ら進んで学習できるよう、ご活用ください。

H30年度 長浜市立神照小学校

すすんで学ぶ子どもを育てるために必要な基本的な生活習慣

「早寝・早起き
・朝ご飯」
を習慣づける！

家庭学習の時間を
生活リズムに
位置づける！

テレビやゲーム、
パソコン、携帯電話
などの使用は
ルールを決めて！

家庭学習の意義

①学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を継続することにより、自ら進んで学ぶ習慣が身につきます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。こつこつ継続することが大きな力につながります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をすることが大切です。

②学習内容の定着

学校で学習したことを家庭で復習することにより、学習の習熟・定着を図ることができます。特に、漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。学校で「わかった」ことが、反復練習によって「できる」という自信に変わります。

③脳の活性化

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながるといわれています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に働くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えることになります。

④集中力・がまん強さ・根気をつける

家庭学習の最大の敵は、テレビやゲーム、SNSなどの誘惑です。この誘惑に打ち勝つことにより、集中力、がまん強さ、根気を養うことができます。テレビやゲーム、SNSなどの時間を決めて学習や読書などの時間をしっかりと確保したいものです。そのために、テレビを消す、みんなで読書をするといった家族全員の協力は大きな効果になります。

⑤家族のふれあい

「本を読んでいる間、横で聞いてあげる」「勉強が分からないとき、教えたり調べたりしてあげる」など家庭学習をしている子どもに親が関わることによりコミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながり、心身も頭脳も健やかに育ちます。